

令和6年3月14日

鴨島小学校保護者の皆様

鴨島小学校長 木屋村雅信

「令和5年度 学校評価」について

保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。日頃は、本校教育推進のために、ご理解、ご協力を賜り、感謝申しあげます。

さて、標題の件につきまして回答をお願いしましたところ、ご協力いただきありがとうございます。その集計結果（別紙①②に掲載）がまとまりましたので、お知らせいたします。皆様からのご意見を参考にさせていただき、次年度の学校運営に生かしてまいります。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（今年度は、紙媒体のアンケートからWeb上での電子媒体のアンケートに変更しました。【Web回答率：約55%】）

【児童・保護者アンケートからの考察並びに対応】

- ◎ 「楽しく学校生活を送っている」（児童・保護者）という項目は、高い評価をいただいている。次年度も「希望の登校・満足の下校」となるよう、学年に応じた人権教育や道徳教育の実践、特別支援教育の推進に努める。また、児童に自信や達成感が生まれるような取組を学校全体で進める。
 - P B S（ポジティブ行動支援）を軸に据えた取組『鴨島がんばりプロジェクト』における項目については児童・保護者ともに高い評価をいただいている。
例えば、「人を思いやる心が育っている」（保護者）、「友達の話をよく聞く」「先生の言葉でやる気がでたり、うれしい気持ちになったりする」（児童）の項目は、昨年度と同様に9割を超えている。しかし、主体的に行動する取組に関しては努力が必要だと感じている。
 - 「学校は、子どものよさや気持ちを理解しようと努め、教育活動を工夫して行っている」（保護者）の項目は、高い評価をいただいている。学級担任だけではなく、全教職員でさまざまな場面で児童を見守り、励ましていく姿勢を今後も継続していく。
 - 「あいさつができていく」（児童・保護者）という項目は、高い評価をいただいている。昨年度から学校全体として取り組んできた、「あいさつ運動」の成果を大切に、今後も自分から進んであいさつできる児童がさらに増えるように取り組む。
 - 「学校は情報・様子を知らせていく」（保護者）の項目は、好評価をいただいた。今後も学校ホームページを活用して、児童や保護者、地域に分かりやすい内容を発信していく。また、伝達の手段として、これまでの紙媒体での案内を電子媒体にしていくことも検討（文書の内容により、従来通りの紙媒体での案内も含む）していく。
 - 学力向上を目指してタブレット端末を活用した学習については、「楽しい」と回答した児童は9割近くいた。しかしながら、「わかりやすい」という回答は8割にとどまっている。今後は、「楽しい」だけではなく、授業が「わかりやすい」という児童が増えるよう努めたい。今までの学習方法のよさとあわせて、より効果的なタブレット端末の活用を創意工夫することで、『教育の質』の向上をめざす。
 - 今後は、それぞれの項目に関して「そう思う」と実感できる児童・保護者の皆様の割合を高めていけるような取組をしていく。
- ※ 行事予定の早期伝達、個人懇談の在り方、給食試食会の実施等、保護者の皆様にいただきましたご意見につきましては、学校で検討の上、できることから改善していきたいと考えております。
貴重なご意見、誠にありがとうございました。他にも課題はありますが、次年度も安心・安全な学校運営に努めてまいります。保護者の皆様・地域の皆様、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。